



PRESS RELEASE

Phase-2 ロゴ(ゴールドロゴ)への準備を！

IPv6 Ready Logo Committee は Phase-1 ロゴ(シルバー ロゴ)との決別をします！

今すぐにも Phase-2 ロゴの取得を！

ー東京/ニューハンプシャー/ルクセンブルグ 2010 年 12 月 1 日ー

IPv6 Forum 傘下の IPv6 Ready Logo Committee は、IPv6 機器の高い品質の確保と認証基準の両立を図るために数ヶ月にわたる議論を行い、Phase-1(シルバーロゴ)プログラムを終了させることで世界的な合意に達しました。これに伴い、新規の Phase-1 ロゴの申請受付は、2011 年 9 月をもって終了する予定です。

この決定は、組み込み機器(スマートオブジェクトやロードバランサー等を含む。)の取り扱いにも関係する話です。IPv6 Ready Logo Program を効率化し、NIST USGv6 のような類似プログラムとの相互接続性をもった唯一共通の認証プラットフォームを形成するため、これらの組み込み機器(スペシャルデバイス)は Phase-2 (ゴールドロゴ)プログラムに包含することにしました。なお、USGv6 との相互接続性の確保については、IPv6 Ready Logo Program と NIST との間で結ばれた合意に基づいています。

“Phase-2 ロゴへの準備を！ 品質のためなら如何なる譲歩も免除もありません”

(Latif Ladid 氏： IPv6 Forum 代表、ルクセンブルグ大学セキュリティ&トラストセンター上級研究員、ISOC 名誉理事)

“産業界は最高の適合性と相互接続性を持った Phase-2 水準(ゴールドスタンダード)を求めています。慎重な分析と IPv4 アドレス枯渇が目前に迫っていることから、IPv6 Forum の IPv6 Ready Logo Phase-1 は終了の時を迎えました。2003 年の設立以来、この Phase-1 ロゴは大きな成功を収めてきました。そして、Phase-1 ロゴの終了は、単にベンダーが Phase-2 ロゴを取得すべきときが来たというだけのことです。IPv6 Ready Logo Phase-2 の取得は、今も、そしてこれからも、世界中の製品の IPv6 対応のベンチマークであり続けます。”

(Yanick Pouffary 氏: IPv6 Forum (Ready&Enabled) Logo program chairperson、IPv6 Forum フェロー、NAv6TF 技術ディレクター)

“我々は市場における IPv6 製品の動向と Phase-1 及び Phase-2 の 2 種類の IPv6 Ready Logo の状況を注意深く見守ってきました。そして Phase-1 プログラムは成功裏のうち役割を終え、プログラムを終了することができるという結論に至りました。Phase-2 プログラムが必要とされるビジネスが出現し始めていることは、今や我々のコンセンサスです。”

(江崎 浩博士: IPv6 普及・高度化推進協議会専務理事、IPv6 Ready Logo program 議長、ISOC 名誉理事)

“Phase-1 ロゴは、7 年間以上にわたって製品の相互接続性向上のため、多くのベンダーを後押ししてきました。そして今では、凡そ 450 もの Phase-1 ロゴ製品が誕生しています！ これは偉大な功績ですが、より高いレベルの相互接続性の確保へと移行する時が来ています。これは IPv6 ネットワークを準備しているベンダーやユーザにとって朗報です。”

(宮田 宏氏: IPv6 Forum Ready Logo Program Regional Officer、IPv6 Forum フェロー)

“IPv6 の広範囲な展開にむけた活動は転換点に向かえ、IPv6 Ready Logo Phase-2 は相互接続可能なネットワーク実現のための次の段階にきています。IPv6 に移行しつつあるネットワークが稼働し、上手くいくことを確実なものとするため、この段階はユーザにもベンダーにも非常に重要なものです。”

(Erica Johnson 氏: IPv6 Forum Ready Logo Program Regional Officer、IPv6 Forum フェロー)

“IPv6 Ready Logo Phase-1 とは、「この製品は他の IPv6 製品との相互接続のための要求条件を備えています」との宣言に過ぎませんでした。IPv6 Ready Logo Phase-1 から Phase-2 へ移行することは、非常に高いレベルで、広範でグローバルな相互接

続性を保障された IPv6 製品であることの証しのための明確な道であると言えます。今や Phase-2 ロゴに移行するときです。”

(Cesar Viho 氏: IPv6 Ready Logo Regional Officer、IPv6 Forum フェロー)

IPv6 Ready Logo Phase-2 の取得は、以下のサイトまで。

<http://www.ipv6ready.org/>

IPv6 Forum について

IPv6 Forum は、先進的ベンダー、インターネットサービス事業者、全米研究教育ネットワーク(NRENs)、国際的 ISP などで構成される世界規模のコンソーシアムです。我々の明確な使命は IPv6 の普及であり、市場とユーザの認知度向上、高品質でセキュアな次世代インターネットの構築、知識や技術を世界中で公平に享受できるようにすることなどをの活動を行っています。今日の IPv6 Forum における注視点は、IPv6 Ready & Enabled Logo の両プログラムを通じて、相互接続性の展開のための技術的ガイダンスを提供することです。

<http://www.ipv6ready.org/>

http://www.ipv6forum.com/ipv6_enabled/

<http://www.ipv6forum.com>

詳細については、下記までお問合せ下さい。

Latif Ladid,

President, IPv6 FORUM

Tel: + 352 - 30 71 35

latif.ladid@ipv6forum.com